

平成27年度 事業報告書

1 平成27年度の概況

平成27年度は、公益財団法人に移行後、4年目の事業年度となりました。平成27年度も定款に則り、「小田急沿線を中心とする地域社会の健全な発展に貢献していく」ために、公益事業を着実に実施しました。

また、当財団の運営の基盤となる基本財産の適切な運用を行うとともに、健全な事務局業務を推進しました。

2 公益事業の実施内容について

(1) 交通安全や交通道德の普及啓発をはじめ、安全・安心や暮らしやすさの向上に関する事業

① 小田急電鉄株式会社と協力し、交通安全や交通道德に関する普及啓発活動として、「ロマンスカークリアファイルセット」と「クリアファイルとケース付定規セット」をそれぞれ25,000セット製作し、春と秋の交通安全運動期間を中心に、小田急沿線の小学校94か所、幼稚園8か所、警察署23か所などに配布しました。

さらに、交通安全や交通道德の普及啓発を図るとともに、鉄道事業への理解を促進するため、小田急電鉄株式会社と協力し、小学生向けの小冊子「おだきゅう鉄道なるほど百科」や「おだきゅう鉄道車両図鑑」を製作し、「狛江市ボランティアのつどい」などの福祉関係のイベントに対し、記念品として提供するとともに、小田急沿線の小学校、幼稚園などにも配布しました。

② 農林水産省から「農のある暮らしづくり事業」の交付金を受け、小田急電鉄株式会社が運営する会員制貸菜園「アグリス成城」において、小学生までのお子さまと保護者を対象に、野菜に関して学習をするほか、野菜の植え付けや収穫、調理などを体験する食育推進イベント「どきどき食育スクール」を8・9・11・12月に合計8回実施しました。

③ 小田急沿線の自治体および社会福祉協議会から推薦を受けた各種施設の入所者や通所者を対象に、日帰りバス招待旅行「すこやか号」を催行しました。

平成27年度については、11月に町田市「ひあたり野津田」、海老名市「星谷学園」、開成町「KOMNY れんげ」の3団体・施設を東京スカイツリーやフジテレビ、浜松航空自衛隊エアパークなどへの日帰りバス旅行に招待しました。

④ 小田急沿線を中心とする特別支援学校および養護学校の生徒の皆さんを対象にソフトバレーボール教室を12回開催したほか、ソフトバレーボールの寄贈や記念品の提供をしました。

さらに、神奈川県特別支援学校体育連盟主催の「ソフトバレーボール大会」にも協賛するなど、スポーツを通じた障がい者の自立支援のための助成等を実施しました。

⑤ 小田急沿線の自治体をはじめ、社会福祉協議会やNPO法人などの公的団体への支援・助成として、ハンドタオル6,000枚を製作し、「小田原市障害者レクリエーション大会」などの福祉関係のイベントに対し、記念品として提供しました。

(2) 沿線の豊かな自然環境の保全、整備に関する事業

① 小田急沿線を中心とする自治体をはじめ、NPO法人や企業などによる地域社会における環境美化活動に対する支援・助成として、ゴミ袋を製作し、小田原市、開成町、松田町、秦野市、伊勢原市、綾瀬市、座間市、相模原市社会福祉協議会、大和市、川崎市麻生区・多摩区、狛江市、世田谷区社会福祉協議会、公益財団法人かながわ海岸美化財団など、15か所の自治体および公的団体に対して、可燃・不燃ゴミ袋を合計59,000枚寄贈しました。

② 小田急電鉄株式会社が「自然との共生活動」の一環として、江の島海岸において開催した「クリーンキャンペーン」への協賛として、ゴミ袋を寄贈するとともに、参加者に対して、記念品を提供しました。

③ 小田急沿線の藤沢養護学校、伊勢原養護学校に対して、環境意識を向上させるための啓発活動として、花苗を寄贈し、生徒の皆さんに校庭の花壇への植え付け作業を体験してもらいました。

(3) 文化やスポーツ振興など地域の活性化に関する事業

① ロサンゼルスオリンピック銅メダリストで、現在、小田急バレーボールクリニック主任講師の丸山由美氏を講師に迎え、「バレーボールを通じた地域コミュニケーション活動について」をテーマに講演会を開催しました。

② 自治体をはじめとする各種公的団体が主催する健康増進のためのスポーツイベントへの支援・助成として、「湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会」、「あやせ健康ファミリーマラソン大会」の参加者に対して、記念品を提供しました。

(4) 「安藤記念奨学金」の給付をはじめ、健全な青少年の育成のための奨学、助成事業

① 「安藤記念奨学金」給付事業については、当財団が指定した東京都および神奈川県など、小田急沿線を中心とする高校、大学の在学学生および大学院に在籍する在日外国人留学生に対する修学支援として、奨学金を給付しました。

平成27年度については、高校生15名、大学生13名、大学院留学生3名を新規採用するとともに、平成27年8月6日には、大学生、大学院留学生に対して、さらに、同年11月15日には、高校生に対して、奨学生証書授与式を開催しました。

なお、平成27年度の奨学生への支給実績は、以下のとおりです。

高校生 (月額12千円) 43名 6,084千円

※高校生1名は、6月末に退学したため、4月～6月の3か月分支給

大学生	(月額20千円)	45名	10,600千円
※大学生1名は、5月に本人が死亡したため、4月・5月の2か月分支給			
大学院留学生	(月額30千円)	5名	1,320千円
※大学院留学生2名は、9月に卒業のため、4月～9月の6か月分支給			
※大学院留学生1名は、12月より休学のため、4月～11月の8か月分支給			
支給合計		93名	18,004千円

- ② 「研究助成」事業については、小田急沿線に本校、または学部が所在する国・公立大学および私立大学40校に対して、募集ポスターおよび募集要項、申請用紙などの応募資料を送付しました。さらに、小田急電鉄株式会社が毎月発行している広報誌「ODAKYU VOICE」やホームページによる募集を実施した結果、8件の応募がありました。これら8件の研究については、平成28年2月15日に開催した「研究助成選考委員会」において、厳正な審査を行い、以下の3名を本年度の助成対象者として採用し、1件1,000千円、合計3,000千円を研究助成金として、給付しました。

氏名：田中 聡（たなか さとる）さん
 所属：東京農業大学 地球環境科学部 造園科学科 助教
 研究テーマ：「首都圏の鉄道高架下における望ましい緑化の在り方に関する研究」

氏名：梅津 信二郎（うめず しんじろう）さん
 所属：早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科 准教授 博士（工学）
 研究テーマ：「防災用・観光用自然エネルギーシステムの構築」

氏名：Teh Yee Sing（テ イーシン）さん
 所属：早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 助手
 研究テーマ：「観光産業化のもとで進むアジアの歴史的環境の変化と保全手法に関する国際比較」

また、選考委員会終了後、平成26年度に採用された3名の研究者による研究成果の発表および選考委員からの質疑、評価なども併せて行いました。

3 法人の運営について

(1) 業務執行体制について

平成27年度については、定款に基づき、以下のとおり理事会および評議員会を開催しました。

① 理事会

開催期日	決議事項などの内容	結果
平成27年5月25日	①平成26年度事業報告書(案)の承認について	可決
	②平成26年度計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその附属明細書ならびに財産目録(案)の承認について	可決
	③選考委員の選任(案)について	可決
	④平成27年度定時評議員会の招集について	可決
	⑤代表理事による職務の執行状況について(報告)	—
平成28年3月14日	①平成28年度事業計画書(案)、収支予算書(案)および「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」等の承認について	可決
	②内閣府による「運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査」の結果について(報告)	—
	③平成27年度研究助成選考委員会の結果について(報告)	—
	④代表理事による職務の執行状況について(報告)	—

② 評議員会

開催期日	決議事項などの内容	結果
平成27年6月11日	①議事録署名人の選任について	可決
	②平成26年度計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその附属明細書ならびに財産目録(案)の承認について	可決
	③平成26年度事業報告書について(報告)	—
	④平成27年度事業計画書、収支予算書および「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」等について(報告)	—
	⑤選考委員の選任について(報告)	—

(2) 財務の健全化について

当法人の事務局業務については、小田急電鉄株式会社に委託しています。また、経理業務については、株式会社小田急フィナンシャルセンターに委託し、予算・決算資料などの作成に当たっては、新日本有限責任監査法人の会計指導を受けています。

(3) 情報公開について

ホームページを活用して、「安藤記念奨学金」や「研究助成」の募集活動を行うとともに、平成27年度の公益活動内容を逐次紹介しました。さらに、平成28年3月10日には、平成27年度の公益活動内容を紹介した「2015年度公益活動REPORT(レポート)」を350冊製作し、奨学生をはじめ、関係者に配布しました。

(4) 内閣府への届出について

- ① 平成27年6月11日に開催した定時評議員会において、平成26年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書ならびに財産目録（案）が決議されるとともに、平成26年度事業報告書の報告が完了したことに伴い、内閣府に対し、事業報告書等に係る届出書を平成27年6月22日に提出し、内閣府による立入検査終了後の平成28年2月3日付けで受理されました。
- ② 平成28年3月14日に開催した第2回理事会において、平成28年度事業計画書（案）、収支予算書（案）および「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」等が決議されたことに伴い、内閣府に対し、事業計画書等に係る届出書を平成28年3月16日に提出し、同日付けで受理されました。

(5) 内閣府の立入検査について

平成28年1月29日に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき、内閣府による「運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査」を受けました。

4 評議員に関する事項について

平成28年3月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

定数6名以上12名以内 現在数11名

（平成23年11月28日選任、縄田正己は平成24年6月14日選任）

評議員会議長	利 光 國 夫	
評議員	安 藤 信 介	箱根ロープウェイ株式会社常務取締役
評議員	上 田 栄 治	銀座楡の木法律事務所弁護士
評議員	太 田 勝 敏	東京大学名誉教授
評議員	岡 部 憲 明	岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表取締役
評議員	杉 山 雅 洋	早稲田大学名誉教授
評議員	坪 井 晴 雅	坪井工業株式会社代表取締役社長
評議員	縄 田 正 己	縄田・鈴木・長谷川法律事務所弁護士
評議員	松 田 利 之	小田急電鉄株式会社顧問
評議員	松 信 裕	株式会社有隣堂代表取締役社長
評議員	吉 田 宏	鉄道機器株式会社代表取締役会長

5 役員等に関する事項について

平成28年3月31日現在の役員等は、以下のとおりです。

(1) 理事（平成26年6月9日選任）

定数6名以上12名以内 現在数10名

理事長	大須賀 頼 彦	小田急電鉄株式会社取締役会長
副理事長	山 木 利 満	小田急電鉄株式会社取締役社長

理事	安藤 創造	
理事	井上 莊太郎	井上病院院長
理事	岡田 清	成城大学名誉教授
理事	小原 芳明	学校法人玉川学園理事長
理事	久保 敏	一般社団法人日本鉄道電気技術協会技術顧問
理事	鈴木 孟秋	縄田・鈴木・長谷川法律事務所弁護士
理事	藤田 耕三	田辺総合法律事務所弁護士
理事	向井 孝次	向井法律事務所弁護士

(2) 監事（平成24年6月14日選任）

定数3名以内 現在数2名

監事	今泉 敏 榮	公認会計士
監事	端山 貴 史	株式会社小田急ハウジング取締役社長

(3) 顧問（平成26年5月14日選任）

1名以上6名以下を置くことができる

顧問	北中 誠	
顧問	杉山 武彦	運輸政策研究所所長
顧問	山下 寛	公認会計士

6 研究助成に係る選考委員について

平成28年3月31日現在の選考委員は、以下のとおりです。

（平成27年5月25日選任）

選考委員長	岡田 清	当財団理事
選考委員	大須賀 頼彦	当財団理事長
選考委員	太田 勝敏	当財団評議員
選考委員	岡部 憲明	当財団評議員
選考委員	杉山 武彦	当財団顧問
選考委員	杉山 雅洋	当財団評議員
選考委員	利光 國夫	当財団評議員会議長
選考委員	山木 利満	当財団副理事長

7 取引銀行について

平成28年3月31日現在の取引銀行は、以下のとおりです。

- (1) 株式会社三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店
- (2) 株式会社みずほ銀行 新宿法人支店

以 上

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成いたしません。

平成28年6月

公益財団法人 小田急財団

以 上